



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	新しい学習指導要領と各教科が目指す深い学び（研究部より）( fulltext )
Author(s)	鈴木, 誠
Citation	教育と研究 / 東京学芸大学附属世田谷中学校(45): 4-5
Issue Date	2018-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/149057">http://hdl.handle.net/2309/149057</a>
Publisher	東京学芸大学附属世田谷中学校
Rights	

---

## 新しい学習指導要領と各教科が目指す深い学び

研究部長 鈴木 誠

---

### 1. 社会に開かれた教育課程

今回の学習指導要領は、社会に開かれた教育課程を標榜しています。「どのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。」というように、学習指導要領の前文でもそのことが示されています。

### 2. 本校が目指す生徒像

本校の教育目標は「個性的で人間性豊かな人格をつくる」「創造性豊かな人間を育てる」「敬愛の精神に溢れた人間を育てる」です。このような資質・能力を育てることを目指し、日々の教育活動を行っています。そして、次期学習指導要領の全面实施へ向けて、本校の教育課程について検討を行っています。

### 3. 学習指導要領の移行期間

学習指導要領は小学校では平成32年度から、中学校では平成33年度から全面实施されることとなっ

ています。平成30年4月からはその移行期となります。社会に開かれた教育課程ということを考えたとき、保護者や社会の皆様は次期学習指導要領がどのような経過をとって全面実施に向かうかを知って頂くことは大切なことであると考えます。

以下では、移行期間における各教科の指導についての概要についてお知らせします。

### 4. 移行措置の内容について

(1)総合的な学習の時間、特別活動  
教科書の対応を要するものではないので、平成30年度から新学習指導要領によることとなっています。本校における、総合的な学習の時間や特別活動については、これまでも次期学習指導要領が示すものを意図し行ってきています。今後は、よりよいあり方について検討を進めていきたいと思いません。

#### (2)特例を定める教科

国語、社会、数学、理科、保健体育については、指導する内容の変更などがあるため、指導内容の

欠落が生じないような特例が定められています。それについては、本稿末に一覧表を示しておきますのでご覧下さい。

(3)道徳

道徳については、平成31年度からは新学習指導要領によることとなっています。本校では、そこに向けて道徳のあり方について検討中です。

教科	移行措置の内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度の第1学年、平成32年度の第1学年、第2学年で学習する漢字に追加して指導する。</li> <li>【都道府県名に用いる漢字の読み書き】 茨、媛、岡、渦、岐、熊、香、佐、埼、崎、滋、鹿、縄、井、沖、栃、奈、梨、阪、阜</li> <li>平成32年度の第1学年に「共通語と方言の果たす役割について理解すること」を加えて指導する。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度及び平成32年度の地理的分野及び歴史的分野の授業時数の配当について、新学習指導要領の規定により、授業時数を両分野に適切に配当する。</li> <li>平成31年度及び平成32年度の「世界の諸地域」(地理的分野)の指導に当たり、「世界の様々な地域の調査」を併せて指導する。</li> <li>平成31年度及び平成32年度の「世界の古代文明」、「ユーラシアの変化」、「ヨーロッパ人來航の背景」、「市民革命」(歴史的分野)の指導に当たった内容の取扱いについて、新学習指導要領の規定による。</li> <li>平成30年度から平成32年度の「領域の範囲や変化とその特色」(地理的分野)、「富国強兵・殖産興業政策」(歴史的分野)、「世界平和と人類の福祉の増大」(公民的分野)の指導に当たった内容の取扱いについて、新学習指導要領の規定による。</li> </ul>

数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度及び平成32年度の第1学年の「数と式」に「素数の積」を、「資料の活用」に「累積度数」を追加し、「誤差や近似値、<math>a \times 10</math>の形の表現」を省略する。</li> <li>【第3学年で指導】</li> <li>平成32年度の第1学年の「資料の活用」に「統計的確率」を、第2学年の「資料の活用」に「四分位範囲」及び「箱ひげ図」を追加する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度及び平成32年度の第1学年第1分野「力の働き」に「2力のつり合い」を、第1学年第2分野「火山と地震」に「自然の恵みと火山災害・地震災害」を追加し、第1学年第1分野「圧力」のうち「水圧」の部分を省略する。</li> <li>【第3学年で指導】</li> <li>平成32年度の第1学年第2分野「植物の生活と種類」に「動物の仲間」を追加し、第1学年第1分野「圧力」及び第2分野「葉・茎・根のつくりと働き」を省略する。</li> <li>【第2学年及び第3学年で指導】</li> <li>平成32年度の第2学年第1分野「静電気と電流」に「放射線の性質と利用」を、第2分野「日本の気象」に「自然の恵みと気象災害」を追加し、第2分野「生物の変遷と進化」を省略する。【第3学年で指導】</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度及び平成32年度の第1学年体育分野に「運動やスポーツの楽しみ方」を追加し、「運動やスポーツの学び方」を省略する。</li> <li>【第2学年で指導】</li> <li>平成31年度及び平成32年度の第1学年保健分野に「主体と環境」及び「調和のとれた生活」を追加する。</li> <li>平成32年度の第2学年保健分野に「生活習慣病」及び「薬物乱用など」を追加する。</li> </ul>

(移行措置の内容一覧)